「医療法人 渡部会」の考え方を皆様にご理解 いただきたく、一冊にまとめてみました。 ご一読いただければ幸いです。 (渡部好造)



*目次——CONTENTS

「診療哲学 | と「事業目的 |・2 私が医師を目指した理由・4 「口腔外科」との出会い・6 会津若松での開院・7 インプラント治療との衝撃的な出会い・9 歯科医師としての現在の私の生活・12 これからも難しい治療に挑み続けます・15 難易度の高い頬骨インプラントの素晴らしさ・17 崩す治療ではなく再生の治療・21 「診療哲学 | と理想の医療・23 [診療哲学]と[事業目的]をつなぐもの・29 医療はチームワーク・31 患者様との信頼関係のために・33 高い専門性に加え、高い人間性を・35 父の思い出とその教え・37 パーフェクトな技術と人間性を目指して・30

付章一 「医療法人 渡部会」における インプラント治療に対する取り組み・42 付章二 インプラント治療の失敗・断念を経験された方へ・44

「診療哲学」と「事業目的」

会」の診療が行なわれております。 ロソフィを制定しております。この二つを中心の理念として「医療法人 渡部 現在、「医療法人 渡部会」では、「診療哲学」と「事業目的」という二つのフ

診療哲学

医療法人 渡部会

当会の診療モットーは、皆様方に良質で高度な歯科医療サービスを提供す

る事によって、真に心の底から十分満足して頂く事にある。

1.

愛)に気付いていただく手助けをする。 さらに皆様方が、既にお持ちの物質以外の無形の財産(時間・美・健康・

3. そうすることで、皆様方一人一人が輝かしい日々を歩まれ、 人生に成功さ

3. 2. 1.

人材の育成を行う。

れる事のお手伝いをすることにある。

医療担当者として、これに勝れる喜びは無い。

理事長 平成六年 (一九九四) 渡部好造

五月

事業目的

医療法人 渡部会

渡部会の事業目的は、医療を通じて、世界人類と社会の進歩発展に貢献する。

併せて、全職員の心身両面の幸福と安心・安全を追求する。 理事長 渡部好造

平成十九年(二〇〇八)五月

■私が医師を目指した理由

が医師の道を選ぶことになった理由ときっかけからから順次述べて参りたいと思 制定するに至った経緯は次のようなものでした。少し迂遠なようですが、まず私 -|診療哲学」と「事業目的」は私どもの根幹となるフィロソフィですが、 それを

ます。

道が閉ざされてしまいました。 おり、 1 すぐ、パイロットを養成する学校に入りました。ところが思いがけない に重なってしまったのです。 ド事件が起こり、その影響もあって飛行機業界が大幅なリストラを進める時期 私 は昭和二十八年(一九五三)生まれです。もともとはエンジニアを希望して 特にパイロットになりたいと思っていました。そのため高校を卒業すると 田中角栄首相が逮捕されたことで知られ るロッキ 形でその

勉強をして新潟大学に合格しました。エンジニア志望だったので工学部です。 それからもう一校、父親から「医療の世界はどうか」というサジェスチョンが 予期せぬ周囲の環境変化があったため、進路を変更せざるをえず、改めて受験 仙

果、父から「社会貢献という面から見れば、勿論どちらも大切な仕事ではあ 業して、少し遅 ことになりました。 あって受験した日本歯科大学に合格しました。そのどちらに進むかを相談した結 れども、歯 と言われました。その一言が大きなきっかけとなって、 1科医師のほうがより直接的にそういった面で実現できるのでは れての大学生活となったのでした。 回り道をしていますので、入学した時点で二十歳。 歯科 医師の道を歩む 高校を卒 ない るけ

潟は百キロメートル程度であり、歴史的に見ても生活圏です。どちらかというと 学です。一九七二年に新潟に歯学部ができたので、東京の学部に入ることもでき たのですが、新潟歯学部(現在の新潟生命歯学部)を選びました。会津若松から新 台より新潟のほうが近いという感覚です。 日 本歯科大学は一九〇七年に設立された、現在では百年を越える歴史を持つ大

ま とえば抜歯、手術をする、 りました。 日本歯科大学に入ってみると、私は外科系のほうにだんだん関 歯科医! 師の行なう治療の中でも、 薬を使うといったことに非常に関心が向かいました。 どちらかといえば外 科 的な、 心が 出て

このことは、後から詳しく述べるように、現在の私の歯科医療に大きな影響を与

えております。

たいへんに感動した私は、どうしても金沢大学に行き、その先生のもとで学びた ました。その方は金沢大学医学部歯科口腔外科の教授でした。その講演を聞いて いと思いました。 その後、六年生になる直前に金沢大学からある教授が特別講演においでになり そのため、日本歯科大学での六年間を経て、金沢大学の大学院

瘍やガンの手術を行なうこともあります。 腔外科は 外科」があります。歯学科はいわゆる歯医者さんとしての勉強が中心となり、ロ やや専門的な話になりますが、金沢大学は「医学部」の中に「歯学科」と「口腔 に進むことにいたしました。 そして、そこで思いがけない大切な経験をさせていただくことになりました。 「口腔外科」との出会い 口 の中に生じる病気全般を診る外科系の診療科目です。重い病気では腫

学を勉強することができました。頭から足先までの病気のことを、ひととお 門大学から金沢大学の医学部に入ったおかげで、歯科を中心としつつ、 正 確 に言うと、 当時は「医学部大学院・歯科口腔外科専攻」でした。 歯科 幅広く医 り学 :の専

ぶ機会を得たわけです。

科医 活かされることになったことは、改めて述べたいと思います。 五年間おりましたので、 また、金沢大学では一年目から大学病院で診察をさせていただきました。合計 というよりは 口 腔 五年間 外科のほうがメインでの五年間 の臨床 経験を積ませていただきました。 です。 その経験が それ のちに も 歯

■会津若松での開院

一九八五年五月に、 出身地である会津若松で開院いたしました。十五坪の、

時は地元では一番小さな診療所でスター トしました。

科も熱心に勉強しておりました。 私 はもともと歯科医師ですが、 大学病院の外来では歯科の治療もしていました それ と並行して先に 述べたよう É 口 腔 外

難 ら、 病が多いということもあって、時間的にはそういった臨床のほうが長かったと 通常の歯の治療もさせていただきましたが、 どちらかといえば難しい症例を処置するのが大学病院の役割です。ですか 口腔外科のほうが難し Ň 手術や

いう経験をしております。

とは異なるかたちで患者様とかかわる診療が増えてきたのです。 機会が少なからずありました。 しまうし、 病院で診察をしていたわけですから、 そのため開院後も、歯の治療がメインではありましたが、ついこの間まで大学 設備の関係で治療できないものは適切な大学病院をご紹介するという 外科的な治療に詳しかったため、 口腔外科的な症例でも治せるものは治して 私にとっては思 通常の 歯科 医 院

「一緒にアメリカに研修に行かないか」と誘われ、ペンシルバニア大学に研修に がけない展開でした。 そんな中、開業した翌年、一九八六年に金沢大学病院の先輩であるN先生から

行くことになりました。

そこで出会ったのがヤン・リンデ先生でした。

歯周病に関しては世界一の先生

8

はり世界のレベルは非常に高い、日本の歯科医療はまだ未熟であるということを だと言われている方です。その研修を受けてみると、強い衝撃を受けました。や

痛感させられました。

を受けてグループで研修を受ける。あるいはアメリカに行ってまた研修を受け それが契機となって、ヤン・リンデ先生が日本においでになると、またお誘い といったかたちで勉強を続けました。

とになりました。そこで私たちは今度はアメリカではなく、先生を追ってスウェ ・デンのイエテボリ大学に研修に行きました。 そして一九八八年、ヤン・リンデ先生が祖国であるスウェーデンに戻られるこ

■インプラント治療との衝撃的な出会い

あっ それがきっかけとなって、スウェーデンではまたもう一つ素晴らしい出会いが たのです。 それがまさに、私の人生を決める出会いとなりました。

九八八年、ヤン・リンデ先生の歯周病のサマーセミナーに参加したあと、 同

じイエテボリ大学のブローネマルク先生の特別インプラント・ベーシック・コー スを受講することができたのです。

10 年近い研究データと、同時にそれを裏付ける十五年近い臨床データがあるので はアメリカとカナダのトロントくらいでしか知られていなかったようです。日本 す。まだ世界に公表して十年も経たない頃ですから、本家のスウェーデン以外で ト治療の非常に科学的なことに、たいへんなショックを受けました。なんと三十 ッパ各国の著名な大学教授陣でした。当時、私は三十五歳でしたが、インプラン 講演はすべて英語で行なわれ、講師陣もブローネマルク・クリニックやヨーロ

学的だったのか。しかもデータも素晴らしい。インプラント治療の基礎研究が、 これほど進んでいたとは知らなかった。そして私は歯科に加えて外科の経験を持 ついては比較的知識と経験を持っておりました。「インプラントとはこんなに科 っているので、 はまだほとんど浸透していませんでした。 かし私は大学で口腔外科を学んでいましたから、人体組織や科学的なことに 自分の得意な分野での知識や技術を活かすことができる」と、 ま

さしく目からうろこが落ちた思いでした。

的に思いました。私は感動と感激で身震いしていました。 「これだ。インプラント治療だ! これが自分の歯科医師人生を変える」と直感

自分のライフワークはこれだ、とはっきりと掴むことができたのです。 かも科学的にも非常に裏づけられている。「これで行こう」と、自分の目指す

ものにやっと巡り合えたという感動でした。

治療 私にとってこの一九八八年のスウェーデン、イエテボリ大学でのインプラント の講演会受講は、その後の歯科医師人生を決めたと言っていいほどの衝撃的

なものになりました。

て、 そのような体験を経たこともあって、私の歯科医療は一般的な歯の治療に加え 特にインプラント治療を専門的に行なうことが特徴となっております。

IJ わっ 通 たわ 常の歯科医療という道に加え、インプラント治療というもう一つの使命 もともとエンジニア志望で工学的な興味も強い私には、 けです。 インプラント治療は歯科と口腔外科が合体したとい まさにインプラント う面が が あ 加

治療 の道を歩むことは必然であり、運命としても決まっていたようです。 以上が、 歯科医師の道を選びインプラント治療と出会うまでの私の歴史で

■歯科医師としての現在の私の生活

じないと思いますので、どのような生活をしているのかをやや余談的に述べてみ 二時間も三時間もかかるものであるといったことは、医師以外の方があまりご存 現在の私の「日常の仕事のスケジュール」ですが、インプラント手術が

は、 もよくあります。 ません。手術がなければその時間で最新の治療を勉強する必要があります。平日 たいと思 基本的に、土曜、日曜はないというのが実際です。 午後も医院で診療をしておりますし、日曜日に手術が入ることも少なくあり 基本的には夕方六時までが診療受付ですが、夜八時過ぎまで診療が続 木曜日の午後は会津若松の「一箕歯科医院」は休診ですが、 土曜日も午前だけでは くこと 仙

台で開院している「ららら歯科医院」で診療をしておりま

うと、平均すると三日に一つぐらいとなります。 インプラントの手術は年間一〇〇例ぐらい私が担当しています。一〇〇例とい

を伸ばして関東圏から中部圏の大学病院を受診したが、それでも手術に至らなか とい か回って受診したが、やはり「お受けできない」と言われてしまった。 受け、「手術は なかった手術を行なうケースが増えています。 た。その方は上下全部のインプラント治療を行ないました。 ったということでした。たまたま私どものホームページを見つけ、来院されまし この方のような、難 そして私 · うの が実情です。 の場合は一○○例と言っても、簡単な治療ではなく難しいものが多い お受けできない」とお断りされた。 最近は特にそのようになってきており、 しいオペが増えてい ます。 ある患者様は、 それから東京の大学病院を何件 大学病院で診察を 他の医院ではでき さらに足

は友人がいる関係で横浜に出張して手術をしたり、ということもあります。それ そうい ったことで土曜日曜もなく会津若松や仙台で手術をしてい

たり、

以上根を詰めると体調に悪影響が出ては本末転倒ですから、 今はそれくらいでセ

ブしております。

やはり体力的にも大変であり、 てしまうことが多いのです。三時間集中してやらなければならないというのは、 ため、 頰 骨とインプラントの両方をやって全部終わるのに三時間 るためには医師の手際良い手術が必要となりますが、私の場合難しい症例が多い れば二時間にしてほしいというのが麻酔科の先生の希望です。手術時間を短くす ッシャーも強くあります。 回の手術は三時間が限界です。というのは日帰りで局部麻酔をすると、でき 重い症例ですから、絶対失敗はできないというプ くらい ・かかっ

そ のパターンがずっと一週間、一カ月と続くことになります。

備もしなければなりません。事前の準備としてCT情報を見たり、 ングをして、九時から診察を開始いたします。夜は八時くらいまで診療が続くこ とも少なくありませんが、そのあとも他の先生方の報告を見たり、 平日は六時ぐらいに起きて、朝八時くらいに医院に入り、スタッフとミーティ 手術の段取り 次の手術

10 体は精神状態にも大きく影響されますから、感情をコントロールすることも非常 もあるので、 なるべく睡眠時間を取るようにしております。というのは手術は「肉体労働」で の手直しを考えたり、ということをしてから家に帰って十二時ぐらいに 大切です。 体調を整えておかなければなりません。身体が勝負です。そして身 () わゆる「落ち込み」というのはなくさねばなりません。 寝ます。

『これからも難しい治療に挑み続けます

易度の高いものが増えているということが言えると思います。 あり、一般的な歯の治療に加え、トータルな医療を行ない、その中でも非常に 難

そのような日常を送っている私の医療の特徴は、口腔外科の出身という経歴も

療でも、敢えて挑戦し、 そしてこれからも、 非常に難易度が高い治療、たとえ他の医師が避けて通 成功させていくということが、私の医療における課題で る治

あると思ってお 私は会津の血を引いているいわゆる「会津人」です。会津人は大義を重んじ、 ります。

あって、私も「会津の血」というものを強く受け継いでいると思います。 採算を度外視して不利な状況に立ち向かって行く場面が歴史において何回か出て くるわけですが、そういった地に育ち、そういった文化の中で学んできたことも

音だと思います。 手術であるから、やらずにすませることができるなら 頃はそうでした。自分が治療すればできないことはないが、しかし非常に難 ずにすませられるならば」という気持ちが生まれることもあります。特に最初の というのが多くの医師の本音でしょう。 功するかどうか難しい、高いリスクがあるような手術であれば、やはり避けたい 他の医院で断わられた患者様が少なからず来院されます。私も本音では「やら できれば安全に終えられる手術だけをしていたいものです。 ――それが多くの医師 の本

ります。 ば [ならないとき、「私の歯科医師人生を懸けて、やってみよう」 という気持ちにな かし私には会津の血とでもいうのか、患者様が困っておられる姿を見なけれ

患者様が日常の生活でこれだけお困りになっているのですから、やはりやらざ

16

す。

す。 るを得ません。ぜひ成功させて患者様に喜んでいただきたい、という思いからで

逃げたらどうするんだ」と、もう一方の自分が言い返すのです。 きには「この症例は難しいから」と言いたくなるときもあります。しかし、「私が 「私がやらねば誰がやるのか」と、そう言い続けて自分を叱咤してきました。と

■難易度の高い頬骨インプラントの素晴らしさ

法 (Zygoma Implant ザイゴマインプラント)」はわかりやすい具体例だと思いま しい治療、 難しい手術という意味では、具体的には 「頬 骨インプラント療

者様 です。私もこれまで四十症例以上をやっておりますが、非常にストレスにさらさ ることを決意されました。ご年齢が六十五歳を越えたことがきっかけだったよう 「頬骨インプラント」を日本で行なうのは、日本で数名くらいだと思います。 の人生を幸福にする素晴らしい技術ですが、それでもある先生は手術を辞め

れる手術であり、 一今はできます。そうであるならば、やはり一人でも多くの患者様 私も年齢が高くなると手術をすることが難しくなるでしょう。

康のお役に立ちたいのです。

感が集まっている場所であり、神経が集まっている場所です。そこを治して、な ブルを起こさないで当たり前に仕上げなければなりません。 ラント手術では、施術前よりも付加価値を上げなければなりません。そこに難し おかつ治ってみたら歯が噛めるという再生を行なわなければなりません。インプ さがあります。 もともとトラブルを起こしやすいデリケートな場所ですが、トラ

の技術水準があるレベルを超えてしまうと、まず問題は起こしません。本当に体 きるのです。自分次第なのです。 力と気力が充実して、自らの技術水準も高ければ、患者様を幸せにすることがで ところが飛行機が雲を突き破るとずっと青い空が広がるのと同じように、

ここ三年間は、私が日本で一番多くの頬骨インプラント療法を行なっていると

思い 見ると、高い志を持ってさらに進まなければならないと痛感します。 めないと暗くなっていた患者様が、何人も何十人も救われています。この現実を ってでないと救えない方々がいるのです。この技術によって、もう一生ものを噛 ます。日本一だとわかる理由は後から述べますが、この素晴らしい技術

 ئ ば何も問題はありません。しかし、どうしてもそれでは駄目だという方が推定で 多いのが実情です。もちろんそれでも、よく噛めて咀嚼できるということであれ ます。 ても、 は が、インプラント治療では一番難易度が高 何百万人もいるのです。 頬骨インプラントを簡単に言えば、上の歯の奥歯的 入れ歯も当然不快感を覚えやすい 下をインプラントにしても上は総入れ歯、あるいは部分入れ歯という方が 上の歯は、 特に奥歯がインプラントにできない 頬骨の周辺は人間の五感が集まる場所でもありますか わ けです。 いのです。下の歯をインプラントに ということはたくさん `な部分です。 頬骨のところ

年三月六日)で四十三症例、全員の皆様に快適に使っていただいています。お一 頬 骨インプラントの手術を私は二〇〇二年にスター ŀ 以来現在 $(\Box \bigcirc)$

すが、その方を除いて全員しっかりと問題なく使っていただいています。 人だけ途中で、インプラントが原因ではなく肺ガンで亡くなられた方がおられま

それだけ患者様を幸せにすることができます。食事のたびに非常に不自由されて ジでした。無我夢中で始めましたが、始めてみたらたいへんレベルの高い治療を り、どこの医師が何を何本買った、というデータがスウェーデンに全部集まりま す。 り、そこが全世界に支店を置いています。その日本支店を通して材料を買 言いますと、データは全部スウェーデンに集中します。なぜかというと、スウェ 自分はしているのだと気がつきました。高度であり、難しい手術であるだけに、 てわかります。自分の手術が全体の中でどれくらいの比率になるかもわかります。 す。日本では使っている人がほとんどいない、ということが、そのデータによっ ・デンにはノーベルバイオケアというインプラント製品を作っている会社があ ザイゴマ・インプラントはすでに述べたように、私にとっては大きなチャレン さきほど「日本一多く行なっている」と述べましたが、なぜそれがわかるかと 頬骨インプラントは特殊ですから、そこの会社を通して購入することによ

できれば、それは素晴らしいことです。 る患者様が現実にいらっしゃるのですから、一人でも多くの方を助けることが

■崩す治療ではなく再生の治療

です。 10 自分の骨が最初からあったぐらいの位置にインプラントを埋めてあげれば、 しまったアゴの骨を再生させて、そこにインプラントを埋めるという方法です。 快適にものが噛めるようになります。 G B R regenerationというのは再生という意味です。歯周病などで少なくなって (骨誘導再生療法 guided bone regeneration)というのも素晴らしい治療法

ができたらインプラントを埋め、そして「歯」を作るわけです。 始まったのですが、骨がないところに骨まで作る(再生する)のです。そして骨 「再建・再生」の医療です。最初はインプラント治療で歯を作るということから この技術の素晴らしいところは、口腔外科の「崩していく作業」に対し、全部

外科の基本というのはやはり、 切ったり、取ったり、 削ったりで、 再建・再生

という発想はごく一部だと思います。

家、条件が悪くなったところに元通りのきれいな家を再現しなければならないわ ど、その奥深い難しさを感じさせられます。インプラント治療の場合、ある意味 ではすでに難しい崖っぷちになってしまったような患部に、きれいな元通りの インプラント治療の特徴は、「歯を再現する」ということです。やればやるほ

けです。そのような難しさがあります。

も再建・再生がこれから主流になることでしょう。 え方が、医療の大きな方向性として中心になっていくだろうと思います。歯科で ると思います。壊すのではなく再生です。これからは日本でも欧米でも、その考 が深いのがインプラント治療です。私はそのように理解し、自覚しております。 そういう面から見れば、「これからの新しい医療のあり方」だということも言え 経験を重ねるうちに、そのことに気がつきました。そういう意味で、 非常に奥

ことです。従来からの外科的な削ったり、取ったりということではなく、むしろ

そこがインプラントの魅力の一つです。医療の発想自体が根本から違うという

22

おります。

除けば現在のところはインプラント治療しかありません。インプラント治療では 復活させて再生させる。それで本来の機能を果たせるようにしていくのです。 ですが歯は少なくなっていくのが現実です。それを補填するためには、入れ歯を 潜 「の再生」はもう現実的な技術になっているわけです。これから高齢 在的な患者様が非常にたくさんおられます。ある程度の年齢になると、残念

どこかで歯 われる人がずいぶん増えることになります。 以上、 が 様々な点を述べましたが、「専門性の高いもの」というのは「医療法 失われていく可能性 が高 11 のです。 しかしインプラント治療で、 救

進んでいくと、

歯の本来の強度は人生八十年を前提にしていない

ものですから、

化社会に

歯

人 渡部会」の歯科医療において、今後も重要な方向性になるだろうと確信して

「診療哲学」と理想の医療

私の理想の医療は「診療哲学」の三カ条に書かれているわけですが、

そ

でした。その四年後に診療哲学を作ったことになります。 れを制定したのは平成六年(一九九四)でした。インプラント治療を始めたのが 一九九〇年。そして一番最初にインプラントの手術をした患者様は、 実は私の父

医療法人渡部会の目指す目標だ」という実感がありました。 たしました。平成六年五月に作り終えた時にはすごくホッとしました。「これが ものを感じていました。そこで、私の思うところを書き上げ、何度も添削をい 毎日、自分としては真面目に熱心に診療をしておりました。しかし何か足りな

ある」とあります。私の考える「理想の医療」として、良質なもの、高度なもの、 歯科医療サービスを提供する事によって、真に心の底から十分満足して頂く事に 「診療哲学」は、その第一条が「当会の診療モットーは、皆様方に良質で高度な

優れた技術を提供するということを前面に出しています。

治療であるけれども、そのとき手を抜かないということです。たとえば詰め物を は思っております。「良質で」というのは、どの歯科医院でもやっている標準的な この点で説明を足しておきたいと思いますのは、「良質」と「高度」は違うと私

質」とはそういうことであると定義づけています。やるか、やらないか、それは なっ が 詰め方では、良質であるとは言えません。私どもでは、詰め物と自分の歯 本人の気持ち次第なのです。 うほどでは するとき、ものすごく段差があったり、三日もすれば虫歯ができてしまうような わ -わからないようにいたします。これは心の持ち方だけなのです。高い つ細 てい か っています。そして、それは本来はどこでも造れます。もし実際にはそう 心の ないとすれば、「やろうとする意思」があるかどうかです。心をこめて一 ありません。かぶせ物でも、何十ミクロンくらいの精度で造れること チェ ックをしていく、というのが私の「良質」という意味です。「良 技術 の境目 どい

が で、その高 的に研究と技術が積み上げられていきます。 あり、 しかし「高度」は違います。「高度」はその時代その時代での高い技術力が必要 きちんとした研究履歴があり、 動 物 い技術力を実現するためには、結果的にうまくいったということでは 実験 にお いてもうまく Ü < その研究に学べばうまくい 次は人間でやろうというかたちで実証 くという叩き台

す。 技術であることを、正しい手順と時間を積み上げて確認しているわけです。そう ろ、九七・二パーセントの成功率があったので世界に発表しました。間違いない にも技術的にも高いレベルの積み上げをベースにしたものが「高度」なもので 技術を学び、現場で高いデータを出すのは私たちの責任です。そのような科学的 きちんとした科学的な順番で証明された方法です。そして、その理論に基づいて のうえで実現した手術法です。そして手術した一〇〇人を十年間確認したとこ いうエビデンス(証明・証拠)に基づいた技術だからこそ世界中が認めました。

そのような思いから「良質」と「高度」ということを分けて述べさせていただ

うケースです。あるいは心がこもっていても、高度な技術を勉強しなければ、良 ます。高度な技術を知っているけれども、心のこもらない治療をしてしまうとい 角度を変えて言えば、高度な技術を持っていても良質にはならない場合もあり

頬骨インプラントも、ブローネマルク先生が作られましたが、十何年間の研究

質であるかもしれませんがレベルの低い治療になってしまい きす。

高 い知識と技術を持ちながら、なおかつ心をこめて歯科医療をしなければなら

ないのです。

十分ご満足していただきたいのです。 そのような歯科医療サービスを提供する事によって、患者様に真に心の底から

ば 設定して、それに向かって立ち向かうことである、とありました。ナポレオン・ 4 私は医療人ですので「それでは医療人にとっての成功とは 功とは何か」という定義があります。成功とは、自分の価値ありと認める目標を ヒル・プログラムは主にビジネスで成功することを中心に説明されてい 「ナポレオン・ヒル・プログラム」を勉強したことがありましたが、その中に「成 時間 んると、 それに続く第二条が「さらに皆様方が、 「今日は夕陽がきれいだな」と身近な美に感動できる。そういうことが人生に ・美 健康でい ・健康・愛) 続け に気付いていただく手助けをする」ということです。 て、 社会に貢献するライフワ 既にお持ちの物質以外の無形 ークがあって、さらにたとえ 何だろうか」と考えて ますが、 0 当 財

その時に感じました。 おける成功というか、 そのため第二条では 何物にも代えがたい、お金では買えない財産ではないかと 「無形の財産(時間 ・美・健康・愛)」

という言葉を使っております。

様だったお一人お一人が、治療によってそれが可能になり、 貢献をしていただきたい。そういう意味合いを私は第三番目の項目に掲げさせて だいたり、 することによって常に元気でいていただき、できれば社会で少しでも働いていた いう言葉が出てきます。「皆様方が人生に成功される」という意味合いは、治療を まれ、人生に成功される事のお手伝いをすることにある」と、ここで「成功」と ただきました。 それに続いて、第三条「そうすることで、皆様方一人一人が輝かしい日々を歩 高齢になっても働き続けていただければ、という思いです。 健康で自立して社会 私 の患者

ます。しかし治療をすることができるのであれば、良質で高度な歯科医療サービ ません。その場合における人生の成功のかたちというのも、 もちろん現在の医学で治療ができないような病気であれば、それは仕方があり また別にあると思い

ありません。そのためには「食べる」ということが絶対条件だと言って良いと思 スによって治っていただく。 健康で自立して働けるならば、 それに越したことは

ます。

意の医療をしないということが、医療人にとってはもっとも許されないことだろ けたく 付け足しておけば、私が思う「好ましくない医療」というのは、心がこもって i 医療です。 い治療もしてしまう。 たとえば制度を逃げ口実にして心がこもってい しかし自分の家族には しない。 生懸命、 な () 自分が受 誠 ٢ 誠

「診療哲学」と「事業目的」をつなぐもの

貢献する」というのは、この言葉どおりです。それに続いて第二条「人材 第一 条の 「事業目的」を制定するに至った思いについて述べてみたいと思います。 「渡部会の事業目的は、 医療を通じて、世界人類と社会の進歩発展 この育成

を行う」、第三条「併せて、全職員の心身両面の幸福と安心・安全を追求する」と

あります。

(スタッフ)」への思いが新たに加わっています。 すなわち、 「事業目的」では、「診療哲学」を制定するときに欠けていた「職員

やりが欠けることになります。 然、スタッフも一緒にそうすべきだ」と思い込んでしまうと、スタッフへの思い 様のために働いている」という自負は良いことだと思いますが、それゆえ の思いがおろそかになってしまっては本末転倒です。「自分は非常に熱心に患者 ています。それ自体は良いことですが、しかし、一方でそのためついスタッフへ 何に執着するかというと「患者様を幸せにする」ということにものすごく執着し 私はいわゆる「我欲」、お金や物に対する執着は非常に少ない人間です。では ___当

医療というのは、やはりスタッフとの信頼関係と協力がなければ、良質で高度

な医療はできません。

職員の心身両面の幸福と安心・安全を追求する」という文章を掲げております。 「医療はチームワークである」という思いから、「事業目的」として第三条に「全

実際、 できるのです。 スタッフの心身両面の幸福があってこそ患者様にご満足いただける医

営をしていく上で何が大切か、ということを学ぶことができました。 稲盛先生が塾長をされている「盛和塾」に入塾し、経営の真髄とは何 るきっかけで京セラ創業者で現在は名誉会長の稲盛和夫先生の存在を知り、 か、

同時 長 事 0 創 業目的」の内容は稲盛塾長の経営理念に非常に影響を受けてい (業された京セラ様の経営理念が「全従業員 社会の進歩発展に貢献すること」ですから内容もよく似ておりま の物心両 面 の幸福を追求 ます。 稲 盛 塾

■ 医療はチームワーク

す。

を全部やるわけにはまいりません。 10 とって仲 私 は、 医 間 療 で というのはチー あ ij 私 İ 常 ムワ にスタ ークだと思ってい 患者様が受付にいらした時には、 **'**'' フを思ってお ります。 ます。 スタ 私 . 一人で ´ッフ 職 医院 まず受付の 員 0 仕 は 事 私

スタッフが対応いたします。 は 経 理の担当者も必要です。スタッフとの良きチームワークなくして、充実し 衛生士、 看護士、技工士、良き経営をしていくため

た医療はできないと私は思います。

療がなかなかうまく進みません。 ちょっと不安だな」「怖いな」と感じて、疑心暗鬼になってしまったら、 けではなく、スタッフの影響をたいへん多く受けます。たとえば受付で「ここは ておりますが、それを拝見してもわかるように、患者様のメンタルは医師からだ 「医療法人 渡部会」のホームページには患者様のご体験を掲載させていただい あとの治

常に良かったと感じておられるようです。それほどスタッフの影響力は大きいの が、もっと全体に対してといいますか、病院全体のトータルな安心感に対して非 者様 のご体験を読むと明らかなように、治療に対しても感謝されています

「歯を入れた後は、普通の歯と変わりなく、見た目もきれいになったので、かな ホームページに掲載させていただいた、ある患者様の言葉をご紹介します。 です。

りうれしいです。今ではインプラントでよかったと思っています。先生もスタッ フもみんなやさしい人なので、安心しています」 して、このような嬉しいお言葉をいただきました。 この患者様からは常に明るく前向きに、という事を教えていただきました。そ

れなかったと思います。 ったことに心から感謝しています」 「先生とスタッフ、患者の気持ちが一つにならなければこんなにいい治療は生ま 良い 先生に巡り会えたこと、スタッフの強い力添えがあ

患者様との信頼関係のために

と、私は スタッフとの関係について述べてきましたが、それでは「患者様」はという 「パートナー」だと思っております。

は 医 師との信頼関 ートナーとなりうるためには、 係だけではなく、 一言で言うと「信頼関係」が大切です。 職員、スタッフと患者様との信頼関係も絶対 これ

的に大切だと思います。

患者様から信頼していただくためには、次の二点が大切であると私は考えてお

ります。

出すということです。 まず第一は、歯科医師としての高い専門性を決して崩さず、そして必ず結果を

前は「できる」と言ったのに、今は「できない」と言う。そんなことでは、「おか なるのは当然です。 ませんでした」ということになれば、信頼関係はそこで崩れてしまうでしょう。 い。この先生は口先だけのことを言っているのではないか」と不安をお持ちに 患者様の期待を決して裏切らないことです。途中までやって、「やっぱりでき

を築くのだと私は思います。この関係は絶対に崩せません。 治療そのものが高いレベルで成功する。まず第一番目は、この関係が信頼関係

ス」をきちんとやることに尽きます。まずはそれが大前提です。高い専門性に裏 そのためには「診療哲学」に記してあるように「良質で高度な歯科医療サービ

打ちされればこそ本物の信頼関係が結べることでしょう。

ております。

■高い専門性に加え、高い人間性を

そして患者様から信頼していただくためにもう一つ大切なことは、 ます。医師の人間性であり、スタッフの人間性です。 人間性だと

技 やはり技術だけでは駄目なのです。 術力を持たなければ医者としての本分は全うできないと私は思ってお 人間性においても良い医師 であり、 かつ高 りま

す。

ます。 が大きく違ってくると思います。ですから私は、 す。しかし腫れることを知っているのと、知っていないのとでは、患者様 痛く感じるでしょう。実際には痛くなくてもそう感じてしまうことでしょう。 患者様も不信感を持ちながら治療をお受けになっていたら、 たとえばインプラント治療を例に挙げれば、手術の直後は必ず腫れてしまいま そして、 こういう時が異常です」とご説明し、プリントアウトもお渡しし 事前に「これくらいまでは 痛くない治療でも の不安 腫 れ

日 患者様 「目に腫れはこうなる、ということも書いてあります。経過がその通りになって の術後の予想症状を全部お一人お一人に書いてお渡ししております。 何

れば、安心感を少しでも持っていただけると思うからです。

る患者様も安心して治療が受けられ、信頼感があれば術後の経過も比較的順調で あるケースが多くなるはずです。 てこそ安心感が生まれ、信頼感が生まれるのだと思います。パートナーであられ やはり技術があって、それに加えて医師やスタッフの人間性というものがあっ

ないのではないでしょうか。 現実においてあり得るでしょうか。理屈のうえではあり得ても、 そもそも、 人間性は低いけれども医者としての技術は高い、などということが 現実にはあり得

稲盛和夫・盛和塾塾長が次のように述べておられます。

に、繊 「製品にはつくった人の心が表れます。ラフな人がつくったものはラフなもの 「細な人がつくったものは繊細なものになります」(「京セラフィロソフィ」 第

七十四条)。

36

は低 10 技 よる医療は高いレベルの医療となり、人間性の低い医師とスタッフによる医療 医 術と人 |療もまったく同じであると思います。優れた人間性を持った医師とスタッ いレベルの医療になるはずです。それが現実の姿ではないでしょうか。 間性。 その両面が伴えばこそトータルとして良い医療ができると私は

■父の思い出とその教え

確信しております。

術ももちろん私 十年ぐらい経ってから、父は上の歯もほとんどインプラントにしました。 のが父でした。一九九〇年に手術した父はそのとき六十歳でしたが、その後もず っと問題がなかったことは、私の自信と安心になりました。一回目の手術 先ほど述べましたように、インプラント治療の第一号の患者様となってくれた が行ない ました。 その手 のあと

うことには不自由はありませんでした。硬い飴玉が好きでしたから、それがイン そ の父も昨年 (二〇〇九) 十一月に亡くなりました。 最後までもの を噛む

何も問題はありませんでした。荼毘に付しお骨を拾わせていただきましたが、骨 の中にはしっかりとインプラントがありました。溶けなかったのです。びくとも プラントに支障がないか心配していましたが、本人にとっては大きな楽しみでし たのでやめさせるわけにはいきませんでした。 。X線を定期的に見ているかぎり、

の情を感じますし、深く感謝をしております。 そして、勇気を持って自分が手術の第一号になってくれたことは、すごく親子 そもそも医師の道を目指すきっかけを与えてくれたのも父でした。 していませんでした。

らせていただきました。 肉親ですから、インプラントの手術も、その前後の治療やケアも心をこめてや

愛情で、すべての患者様に歯科医療を提供してまいりたいと思います。その意味 では、医療における人間性の大切さとそのあり方を、具体的な形で教えてくれた のも父であったと言えます。 人間性という面においては、私は父に行なったときと同じだけの熱意と誠意と きるはずです。

■ パーフェクトな技術と人間性を目指して

び そのもののレベルを、これからもどんどん上げなければなりません。 「医師としての技術」に期待して来院されるわけですから、それにお応えする高 技術を持たなければ話になりません。「この歯科医院を選んでよかった」とお喜 診療哲学の「良質で高度な歯科医療サービスを提供する」ためには、 ただける高 いレベルの医療技術を実現しなければなりません。 患者様 専門技術 は

間性があればこそ、 て優れた人間性があればこそ、患者様に安心と信頼感を持っていただくことがで その技術には優れた人間性が伴っていなければなりません。 優れた技術によって結果を出すことができるでしょう。そし 優れた人

パーフェクトな技術とパーフェクトな人間性。

「医療法人 世界でもトップレベルにあるような技術と知識に基づく治療をしており、 渡部会」は、 その境地を目指したい と存じます。

が両輪として一緒に動いている、そのようにありたいと思います。その二つが両 も、それを人間性の高い医師とスタッフが行なっている――つまり専門性と人格

立しているのが非常に重要なところです。

パーフェクトな技術とパーフェクトな人間性。

づこうとすることが重要だと思います。

もちろんそれは極め尽くすことはできないことです。しかし限りなくそれに近

それが私の目指したい方向です。

*

ラント治療を開始して満二十年となります。 二〇一〇年三月は私が歯科医師になって三十年、そして私が専門とするインプ

生が、こう言われたのをはっきり覚えています。 一九八八年、ブローネマルク先生に初めて講義を受けた際、ブローネマルク先

「このインプラントの治療終了後から、治療を担当した先生と、治療を受けられ

す。

できるようになりました。当院でインプラント治療を受けられた患者様は、亡く た患者様との関係は、その後一生のお付き合いになるでしょう」 インプラント治療を開始して二十年経過した今、私はこの言葉をはっきり実感

さっております。

この仕事に出会えて、私としては天命を得たという感じがいたします。

なられたり引越しをされたという事情を別とすれば、皆様が定期健診に来てくだ

まさに今の仕事は天職です。

に真剣に、臨機応変に対応してくれています。本当にありがたいと思っていま そして「医療法人 渡部会」のスタッフは、昼夜をとわず難しい問題にも誠実

医療はチームワークです。 このスタッフの一丸となった行動は、私の一番の自慢です。

これからも患者様のご満足と幸福のために全力を尽くしてまいります。

◎付章一 「医療法人 渡部会」におけるインプラント治療に対する取り組み

(ホームページにも掲載しております)

①定期的にスウェーデンや外国の国際学会、研修会に出席

member になっています)。 さらに、四年に一回の国際インプラント学会などに参加し ク・クリニック(ブローネマルク教授、現在は退職)の研修会に参加。また、 ています。 ーロッパ インプラント学会)に定期的に参加 近代インプラント治療の発祥の地、スウェーデン・イエテボリ大学ブローネマル (理事長の渡部はEAOとAOの EAO (ヨ

②インプラント治療の保証

す。 当院では、インプラント治療開始から治療終了後三年間、 四年目からは、段階的に保証は減少しますが、七年間続き、安心してご使用して 無償保証を行っていま

③国内でも、早期(一九八八年)から、インプラント治療開始

いただけます。

たちのお陰なのです。

プラントの指導医 これまで、八五〇症例を超える実績が (渡部好造)になっています。 あり、 国内 のブローネマルク・システムイン

④手術には、全身管理および無菌室を使用

ながら、安全に施行しています。 また、一九八五年より、 ラス100からクラス10 手術 は一九九二年より、歯科麻酔医等による静脈内鎮静法を行い、 00の状態を確保しています。 手術は無菌室を使用 全身管理を行 Ü

⑤世界基準のブローネマルク・システムのみを使用

れたインプラントしか、 世界のインプラント基準、それがブローネマルク・システム インプラントです。 五年、初めてインプラント治療が開始された。以来、現在迄四十年以上の実績を持つ、 このダントツの実績と高い成功率、そして何より唯一の膨大な研究実績に 九五二年、ブローネマルク博士のインプラントの研究開始から十三年後の一九六 使用していません。 当会の、高い成功実績も、 こうした先人 裏 付 けら

⑥特に、 内外の遠方から来院されている 難易度の高 いインプラント治療を専門 (渡部好造) としており、 最近では国

◎付章二 インプラント治療の失敗・断念を経験された方へ

(ホームページにも掲載しております)

療を受けています。こういった方は、遠方から来院される場合が多く、治療終了後も 定期検診を受診されています。 された方でも、相談にこられた方のほとんどが、当会の歯科医院で、インプラント治 過去にインプラント治療を断られた方、また過去にインプラント治療の失敗を経験

専任のトリートメント・コーディネーターが丁寧に相談を承ります。

- ・「骨不足で、インプラントが出来ない」といわれた方
- ・過去に「インプラント治療に失敗」された方
- ・骨粗鬆等など、骨の密度が低い方・高齢で、上下顎に骨がない方

()

ただきました。

(Zygoma implant)を用いて治療を行います。 このような場合は、骨移植やGBR (骨誘導再生療法)そして頬骨インプラント療法

こ指導をいただくことに成ります。特に、二〇〇〇年にスウェーデンで発表され Dr. Lars kristerson 先生に初めてお会いしたときから、十年以上にわたり、 手術 0

Zygoma implant 法は、その後 Dr. Kristerson に講演や手術指導を受けました。 各地の学会で、時々講演を聴く機会があります。 生からは、十数年前からGBRを教わってきました。 この二人のお陰で、 R、骨移植 また、イエテボリ大学 Dr. Dahlin 教授、とミラノ大学 Dr. Simion 教授のお二人の先 の成功率が飛躍的に向上し、失敗することがなくなりました。 当会のGB 現在も世界

また、Zygoma implant の初期の手術には、国内の波多野尚樹先生にも大変ご協力を

た。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。 他にも堀内克啓先生や、たくさんの国内外の多くの先生方にご指導をいただきまし

〈著者略歴〉

渡部好造(わたなべ こうぞう)

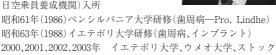
1953年8月30日生まれ

現 職: 医療法人 渡部会 理事長兼一箕歯科医院 院長、医学博士

学 歷:昭和55年3月、日本歯科大学卒業

昭和60年3月、金沢大学大学院医学研究 科(歯科口腔外科)卒業

研修歴:昭和47~48年(1972~1973)日本フライン グサービス(株)八尾乗員養成訓練所(旧全



職:昭和60年4月~金沢大学医学部歯科口腔外科学講座協力研究員 昭和60年4月~金沢大学医学部歯科口腔外科学講座同門会評議員 平成12年4月~14.3.日本口腔インプラント学会評議員、東北・ 北海道地区理事

ホルム市のカロリンスカ インスティテュートなどで研修

2001年 奥羽大学歯学部非常勤講師 2002年 東北大学歯学部非常勤講師 2003年~日本歯科大学歯学部非常勤講師

「医療法人 渡部会」の考え方

――私たちの目指す歯科医療と、成功するインプラント治療

2010年4月1日 第1版1刷発行

著 者 渡部好造

発 行 医療法人 渡部会

〒 965-0006

福島県会津若松市一箕町鶴賀下居合56-1

編 集 PHPパブリッシング (丸山 孝)

[©] Kozo Watanabe 2010 Printed in Japan